

新温泉町文化財保存活用地域計画策定事業「地区別生涯学習講座」における町民の望む文化財保存活用措置等の意見

番号	地区名	日時	場所	参加者数	参加者の意見等
1	春来地区	令和4年7月22日 (金) 19:30-21:00	春来地区公民館	15	春来区では平成26年から春来地区公民館活動として「春来歴史探訪講座」を開催している。
	春来				春来地区の活動としては、探訪マップ、春来歴史年表の作成、地元の歴史遺産視察（桧尾の仏像など）を行った。 春来地区は、かつてすべての暮らし（生業）が地区内で賄えたほど賑わいがあった。職業名の屋号が多く残っている。 地域も文化財を活用して、地域が活性化していく姿勢を持たなければいけない。 旧春来小学校旧校舎（昭和27年建築で、温泉小学校の廃材を利用）の活用ができないか。活用できるような体制が作れたらいいと思う。 春来地区から周辺の集落に繋がる街道も残っているので、何らかの形で残していく必要がある。
2	照来地区	令和4年7月27日 (水) 19:30-21:00	照来地区公民館	11	中辻のたたら場から鉄を運んだ「馬道」や、豊臣勢の兵が因幡方面に侵攻した際に使ったとされる道もあり、構成文化財に追加できると思う。
	丹土・多子・切畑・桐岡・中辻・飯野				中辻の芸踊りについて、実際に踊る小中学生がいないため維持していくことが困難である。今後地域で守っていくために、町が方向性を示してほしい。 照来地区では地区内の歴史スポットのマップ、冊子づくりを進めている。住民に対して先ずどのようなものが地区内にあるかを知ってもらうことが大切である。スタンプラリー（消しゴムスタンプ）も実施する予定である。 照来地区の歴史スポットに解説板（パウチした簡易なもの）を作ることも計画している。地域住民が日々現地で見ること、地域住民の関心が深まるといった流れをつくるのが目的である。 旧照来小学校に多くの民具が收藏されていたが、小学校の教材として活用できると思うが、現在はどうなっているのか？ 地域と地域をつなぐとあるが、丹土のはねそ芸踊りを継続していくために、他の集落、例えば飯野や塩山に対して、どのようなつながりができるのか？ 地域の取り組みについて、地域計画では具体的にどのようなことが出来るのかまた、してもらえるのか。
	温泉小学校区	令和4年8月22日 (月) 19:30-21:00	町民センター		地域ではコロナ禍の中、地域内のコミュニケーションが取りにくくなっている。しかし、伝統行事は引き継いでいかなければという思いはある。
	熊谷・伊角・今岡金屋・井				地域の文化財を保存活用するためには、町当局も組織の連携・横の連携は必要なので、各課でも連携・分担・情報の共有をお願いしたい。

3	土・竹田・高山・歌長			<p>学校教育の中で地域の子どもたちがふるさとを知る教育にもっと取り組まないと、子どもたちが地域のことが分からなくなる。</p> <p>鳥取県智頭町などでは、漆の専門家たちが「漆の山をつくろう」と頑張っている。新温泉町でもかつて「漆の文化」が息づいていた。無くなった文化の掘り起こしも必要である。</p> <p>地区役員をするようになって、細田区の神社の話、地蔵の話など独自に書籍などで勉強し、細田区の子どもたちに伝承できるように勉強をしている。</p> <p>細田地区では湯区と連携して祭り行事を行っており、区長として細田の子どもたちに細田の歴史も教える機会を設けたいとは思っている。</p> <p>温泉町の地名の起源や湯村温泉の歴史などを色々調べているが、まだ謎が多い。今後も文献を調べて、自分の中ではっきりできればと思っている。</p>		
	4	浜坂北小学校区 浜坂・芦屋・清富	令和4年8月30日 (火) 19:30-21:00	浜坂多目的集会施設	<p>町内の寺院に解説板を設置し、広く周知する必要がある?。未設置寺院宝宣寺等町内には「芝千軒」等の伝承もあるが、その実態がわかっていない。地域の由来・伝承について地元としても関心があり、調査する必要がある。</p> <p>地域で大切に思う文化財が町指定文化財に指定される流れがわからない。</p> <p>町内の寺院や建物の歴史スポットを丁寧に結びつけるような散策ルートができないか</p> <p>地域が主体となって地域の文化財を調べるとき、調べ方がわからない現状がある。行政として、専門家などによる調査支援・助言が必要である。</p> <p>新温泉町の現状として、町内の文化財と観光施設がうまくつながっていないように思う。</p>	
	5	久斗地区	令和4年9月3日(土) 19:30-21:00	久斗地区公民館 (浜坂東小学校)	2	<p>明治時代初期の対田では養蚕が行われ、旧久斗川から岸田川河口まで舟運で運ばれていたが、こうした地区の歴史を地域の人々が知らないで、後世に伝えていく必要がある。</p> <p>地域の文化財をテーマにした学習は非常に親和性が高い。小学校の統廃合が進んで行けば子どもたちが地域・歴史や文化を学習する機会が少なくなる。</p> <p>文化財地域計画の策定により、地域の歴史・文化の保存活用に対する経済的な支援、事業内容(財源補助)はどのような形になるか。</p>
		久谷・対田・高末・正法庵・辺地・藤尾				
6	八田地区	令和4年9月9日(金) 19:30-21:00	八田コミュニティーセンター	12	<p>旧山陰道として蒲生峠も大切ではあるが、千原・鐘尾の境にとしみ峠の矢倉越えの道があり、その場所には薬師堂もあった。長谷の立札があり、この道こそ村の歴史として大切にしたいと思っている。</p> <p>千原でも「千原を学ぼう会」を計画したが14名しか来なかった。知らせるための仕組みが大事。ふるさと教育も充実させ、後継者育成もお願いしたい。</p> <p>但馬内でも文化財行政が教委部局から首長部局に変わりつつあるが、新温泉町でも教委部局は現状のまま残してほしい。</p>	
	あさひが丘・千原・鐘尾・千谷・内山・越坂・宮脇					

				<p>千谷村史の編集に関わった方の家の片づけをした際、廃棄された資料が多くあつた。村史に関わった資料などは千谷公民館に残したが、地域の若い人が各村の知識人が生存しているときにしっかり残していく必要がある。</p> <p>今回のアンケート調査を見ると、各村の回答内容の差が大きい。区長の知識がなければ地域の古老に聞く必要があり、その上で住民の意見・プロセスなど、意見を聞いて今回の地域計画に反映すべきである。また、各地域にどんな文化財があるか、地域に情報を提供してほしい。</p> <p>町内の遺跡発掘調査や文化財の調査記録の閲覧ができる場所が必要である。</p>	
7	久斗山地区	令和4年9月20日 (火) 19:30-21:00	久斗山ふれあいセンター	10	久斗山地区には多くの文化財があることが分かった。これまでも住民が協力して守ってきたし、これからも守っていきたいと思う。
	久斗山・境				<p>地域の課題として少子高齢化があり、地域の伝統行事を後世に残したい思いはあるが、形のある物は残せるが、形のない伝承は難しい。</p> <p>久斗山地区の食文化として「栃餅」「かきもち」、産業遺産として「たたら製鉄遺跡」等がある。</p> <p>文化財地域計画では、どのような事業が計画として取り組まれるのか。</p> <p>地区内には多くの石仏が残されており、写真や場所を記録しているので、その情報を地図に落とし込み、みんなが見れると地域の文化財に対する関心も深まると思う。</p>
8	赤崎地区	令和4年9月28日 (水) 19:30-21:00	赤崎地区公民館	5	有形文化財は比較的守られているが、無形民俗文化財は何とかしなければいけない
	赤崎・和田・田井・指杭				<p>「二方神社」「土原大明神」など地域の歴史や文化について、地域住民が知る必要がある。</p> <p>二方古墳は昔遠足に行ったが、看板はあるが現在荒れている。草刈りや階段の整備が必要である。</p> <p>町の行事や地域の文化財について調べられるとき、町のHPを見ればわかるようになればいいと思う。</p> <p>地区公民館の事業として「歴史探訪」「学習会」、各集会開催時に「聞き取り調査」を実施、記録に残していく必要がある。</p>
9	諸寄地区	令和4年9月29日 (木) 19:30-21:00	諸寄基幹集落センター	19	諸寄の精霊船が県の登録文化財になったが、会員は3名であり、今後の取り組みが課題である。
	諸寄・奥町・釜屋				<p>諸寄地区ではこれまで先人顕彰や北前船関係のイベントを行ってきたが、コロナで中止になった。今後は地域のみならず行政や専門家の協力を得て続けていきたい。</p> <p>新温泉町の先人加藤文太郎のマンガ本が作成されたが、子ども向けに諸寄出身の先人のマンガ本が作成できないか。</p>

				<p>諸寄の砂浜は名勝「雪の白浜」として古くから和歌に詠まれた場所であるが、現在は砂浜が無くなっている。諸寄漁港の改修記録を調べたいと思ったとき、行政の公文書の整理されていないため調べようがない。行政の公文書は地域の歴史を調べる上で貴重な資料であり、適正な整理・保存が必要である</p> <p>地域の人口減少は、地域の歴史や文化を後世に伝えることの難しさがある。この難しさを行政は、どう考えているのか。</p>
10	<p>奥八田地区</p> <p>海上・前・田 中・岸田・石 橋・青下・霧 滝</p>	<p>令和4年9月30日 (金) 19:30-21:00</p>	奥八田文化交流館(みあげ)	<p>コロナ感染対策として、地域住民が集まることが少なくなっており、以前のように人の集まる機会や場所をつくらないといけない。</p> <p>文化財を記録に残すことは大事であり、地域が元気になるための取り組みや行政の支援が欲しい。</p> <p>海上の傘踊りを伝承したくてもコロナ禍のため、公開する場所が少なくなっている。海上地区以外の子供たちにも教える機会が必要である。</p> <p>11 上山ふるさと館がこれまで取り組んできたコンセプト「まるごと博物館」は、地域計画の理念や方針と合致している。溪谷や滝などの自然遺産だけではなく、人々の暮らしや文化(傘踊りなど)も組み込んだ取り組み(モデルコース・有料公開・ガイド)が必要である。</p> <p>奥八田では人口減少・過疎化する中で、「海上傘踊り」「岸田さえもん踊り」の民俗行事や民俗芸能を伝承を中心に考えていきたい。</p> <p>奥八田地区で無くなった歴史や文化として、木地師や水路がある。また若桜に繋がる旧街道もあり、地域の歴史や文化を調査し残していきたい。</p>